

カルメル

霊性センターニュース



Andreas

1590ms. Annunciation

フラ・アンジェリコ画 「受胎告知」

2021年4月

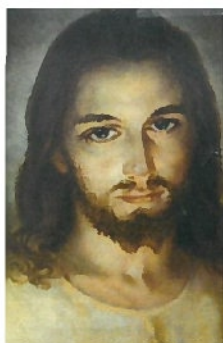
374号

4月号 【教会からの巻頭のことば】

「イエスにお目にかかりたいのです」(ヨハネ12章21節)

このかたは生きている——。これは、たびたび思い浮かべなければならぬことです。わたしたちにはイエス・キリストを、昔いた見習うべき人物として、過去の記念として、二千年前にわたしたちを救ったかたとして、ただそれだけの存在にしてしまう危険があるからです。そうしたことは、何の役にも立ちません。わたしたちは変えられないまま、解放されることもありません。ご自分のもたらす恵みでわたしたちを満たしてくださるかた、そのかたは生きているのです。そのかたこそ、復活し、人知を超えた活力に満ち、無限の光をまとっておられる、キリストなのです。だから聖パウロはこう言いました。「キリストが復活しなかったのなら、あなたがたの信仰はむなしい」(一コリント15・17)

(使徒的勧告『キリストは生きている』124)



目次

教会からの巻頭の言葉	1
目次	2
心の泉	3
カルメル会の企画案内	25
東京	26
京都	30
キリスト教放送局 FEBC のご案内	32
諸所の企画案内	33
通信深読お申込みのご案内	37
郵送お申込みのご案内	38
あとがき	39

心の泉



復活のキリスト像(宇治カルメル会修道院)



第三卷

第三十七章 心の自由を得るためには、まったく自分を捨てなければならない

1 主

《子よ、自分を捨てなさい。そうすれば、私を見いだすだろう。何事にも執着せず、自分好みの愛を持つな、そうすればいつも利益があるだろう。あなたが自分を決定的に捨てれば、より豊かな神の恵みが下る。》

2 子

《主よ、私は何度、自分を捨て、どのような場合に自分を忘れたらよいのですか？》

3 主

《いつでもどんな場合にも、小事にも大事にも、私は何一つ例外を設けない。私は一切のものを捨てたあなたを見たいのだ。そうではなくて、外部的にも内部的にもあなたの意志を捨てないなら、どうして私があるあなたのもの、あなたが私のものであろうか？私のこの勧めを早く実行すればするほど、あなたにとって有益である。また完全に忠実であればあるほど、ますますあなたは私の喜びとなり、利益を受けるであろう。》

4 いけにえとなる

ある人は自分を捨てるが、まだ何かを自分のものとして保留している。それは、完全に神に委託していないため、自分で自分のことを配慮するのである。ある人は最初は熱心に犠牲をささげるが、試練にあうと、せっかく捨てたものを取り戻そうとする。こういう人は、なかなか徳の進歩を見ない。完全に自分を捨て、毎日犠牲をささげないかぎり、私との親しい一致もなく、真の自由と心の清さ、そして私との親交という恵みも受けないだろう。

5 すべてのために一切を与えなさい

何度も言ったことであるが、もう一度くり返そう。自分を捨てなさい、自分を忘れなさい。そうすれば心の深い平和が味わえる。すべてである私に、すべてを与えなさい。何一つ求めるな、何一つ取り戻すな。まったく清い心をもって、ためらうことなく私にゆだねなさい。そうすれば、私を得る。そしてあなたは、自由な心の人間となり、闇につぶされることはなくなる。すべての努力をもって、そう努めなさい。祈り、望みなさい。すべての執着を脱ぎ捨て、裸で、裸のイエスに従い、自分に死んで永遠に私に生きなさい。そうすれば、中身のない空想、危険な混乱、無用な心配はなくなるであろう。そして、過度の恐怖とよこしまな愛もなくなるであろう。》

2021 聖ヨセフ年-4 ご復活おめでとうございます！



神はイエス・キリストを
死者のうちから復活させ
わたしたちに希望を与えてくださった
アレルヤ！



復活されたキリストは
わたしたちを呼んでおられます。

わたしたち一人ひとりを
いつか知ることになる永遠の名によって
呼んでおられるのです。

その永遠の名は
すでに存在しています。*

～幼きイエスのマリー・エウジェンヌ ocd～



伊従 信子
ノートルダム・ド・ヴィ

*『神と親しく生きる いのりの道』聖母の騎士社 より

創造主への賛美（41）

九^{のり}里 彰

何一つ自分のものと言うことができない。すべては神からのお恵みであるということは、なかなか悟ることができないように思われる。

アビラの聖テレジアの言う「私どもが自分自身としては何もよいものを持たない」ということは、「自分は駄目な人間だ」、「自分など、この世にいてもいなくてもよい存在だ」などと、自己卑下、自己蔑視することではない。それは、この世の価値観で、自分で自分に評価を下し、劣等意識にさいなまれていた話である。その裏には、自分より優れている者や、有名となり、社会の一線で活躍している人々に対する羨望や嫉妬の念が隠れひそんでいるように思われる。

「自分が自分として何もよいものをもたない」ということは、「すべては神からのお恵みだ」と悟ることである。自己からの解放、この世からの解放、喜びと賛美である。どんなに良いこと、すばらしいことを成し遂げようと、ノーベル賞を取ろうが、金メダルを取ろうが、文化勲章をもらおうが、○×▲賞をもらおうが、同じことである。

このことを、テレジアの娘であるリジュエのカルメル会の聖女、幼きイエスの聖テレジアは、悟っていたと思われる。亡くなる一年ほど前の、姉の聖心のマリー修女にあてた手紙が、そのことを証している。

愛するお姉さま、どうぞ、お姉さまの小さい娘の言うことをご理解ください。イエズス様を愛し、愛のいけにえとなるには、すべてを焼きつくして変化させるこの愛の働きを受けるには、弱ければ弱いほど、そして何の望みも徳もなければいほど、よいのです。（手紙 176）

「弱ければ弱いほど、そして何の望みも徳もなければいほど、よいのです」という表現は、多くの人を驚かす。常識を超える、このパラドクシカルな表現に、多く人は戸惑うのではないだろうか。一般的には、この世では「強ければ強いほど良い」、「望みもたくさん、徳もたくさんあればあるほど良い」と考えられているからである。

しかし、聖女が歩んだ聖性への道は、真逆、まったく正反対なのである。これは、キリストとファリサイ派の人々や律法学者たちとの対立を考える上で、看過できない点でもある。（続く）

十字架の聖ヨハネのこぼれ話 (156)

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

私たちが訪ねるとのことです③

もっとも親しかった人々の一人で、ヨハネの信頼する友であり、聴罪司祭でもあったホアン・エヴァンヘリスタは、聖人が考えていたことや、人に忠告したことや、行なったことなどを供述しています。ヨハネがグラナダの院長であり、証人が修道院の財務管理と会計担当であった時、二人の間で起きたことをこう詳述しています。

「さらにこの証人は、十字架のヨハネ修父と一緒にいた全期間、彼が世俗の人々と交わることに對して強い嫌悪の念を抱いており、そのために決して彼らを訪問しなかったことを知っています。修道院が窮乏にあえいでいた時、その市のある騎士が十字架のヨハネ修父に、裁判所の裁判官たちを訪問するように言いました。彼が姿を見せることによって、彼らが修道院に施しをするように促すことができるであろうと。修父は彼に、施しのような崇高で価値ある行為は、彼のためではなく、神のためになされる以外に理由はないと答えました。そして彼はそのように人々に施しをするように促しました。十字架のヨハネ修士がその修道院の院長であった時、証人はいつも修道院に施しがあったのを見ていました。そして証人は、彼には神の憐れみに対する絶大な信頼があるのを知り、同時にすべての目下の者たちに、そのような信頼を抱くよう諭していました。

そのような中で、ある日、証人がその修道院の財務管理者であった時、修道院の中には修道者の食べ物は何もないということが起こりました。そこで彼は、十字架のヨハネ修父のところに行き、食べ物を探しに行く許可を願いました。すると彼は、神に委ねるようにと答えました。一日はそんなに長くはない。神は食べ物が不足することによって私たちを試そうと望まれたのだ。食べ物を探すための手段を講じ、修室に行けば、もっともふさわしいものを見出すであろうと。証人はそのようにしましたが、修道院には病人がおり、必ずしもすべての者が飢えに耐えることはできないように思われましたので、必要なものを整えるため外出許可を願いに、十字架のヨハネ修父のもとにもどりました。彼はこう答えました。「やれやれ、あなたの信仰の薄さが、どれほど神を困惑させるかを見ることでしょう」。証人が部屋を出ると、この裁判の報告者であるブラボ学士に出くわしました。(続く)

(P. 九里訳)

復活の主日

(ヨハネ 20 : 1-9)

「週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た」。

復活の主日の福音は空の墓の物語です。大きな石でふさがれていたはずのイエスの墓が開いており、そこには朝の光が差し込みつつありました。他の福音書では、白い服を着た若者や天使が立っていたとも書かれています。イエスの葬られた墓は、暗く閉ざされた死者の場所ではなく、希望の光が差し込む命の場所に変えられていたのです。

この時はまだ、マリアやペトロ、他の弟子たちも復活のイエスを知りません。しかし、何が起きたのか把握はできなくても、何かものすごく込み上げてくるものを心に感じた最初の体験であったに違いありません。「イエスの遺体が盗まれた」と考えてもおかしくない状況の中で、弟子たちは、そうではない何かを感じ、その込み上げてくるものの中に、イエスがかつて語られていた言葉もよみがえって来て、力が湧いてきたものと思われまます。マリアもペトロももう一人の弟子も走りました。走ったのは、居ても立っても居られないからです。彼らは心から湧き出てくる希望を抑えられずに走ったのだと思います。

復活節の最初の日、この空の墓の出来事を思い起こすのは、この居ても立っても居られない、込み上げてくる喜びを私たちも味わうためです。主の復活は理論ではありません。イエスが本当に死者の中からよみがえられたことを歌う日です。「愛は死よりも強い」(雅歌 8・6) ことを証明したイエスを讃える日です。

墓という暗闇の中に光が差し込んだ出来事は、死は死で終わるのではなく、命への門となったことを示すとともに、私たちの体験するいろいろな限界にも、イエスが未来の扉を開いてくれたというメッセージです。この世のどんな苦しみや悲しみにもイエスが救いの扉を開いてくださることを約束された出来事なのです。このイエスを信じる者は「過ぎ越す」のです(出エジ 12・13)。イスラエルの民が子羊を屠って過ぎ越したように、私たちも、十字架につけられ、死んで、復活されたイエス様によって過ぎ越させていただけるのです。

イエスが死を打ち破り、罪よりも大きな愛を証明したこの復活を信じる私たちは、この世のどんな暗闇の中にも希望を見だし、「世の光」(マタイ 5・14) となりながら、前へ前へと進んでいけるのです。復活したイエスは、私たちを神の国にまで導いてくださる主となられました。ご復活おめでとうございます。(今泉健 神父)

神のいつくしみの主日 (B)

(ヨハネ 20 : 19 - 31)

本日教会は「神のいつくしみの主日」と呼ばれている復活節第二主日を祝います。この祝日は2000年4月30日、聖マリア・ファウスチナの列聖式においてヨハネ・パウロⅡ世により名づけられました。神のいつくしみの主日は聖週間と復活の週間の全ての神秘を合わせ持っています。この祝日は、全世界へのいつくしみ深い愛と恵みの光輝く光線の中で復活のキリストの光に焦点をあてています。聖ファウスチナへの啓示により、イエスはこの特別な祝日を祝う望みを表しました。いつくしみの祝日はイエスの奥深いやさしさから現れたのであり、人類はいつくしみの泉に達するまで平和を得られないであろうとイエスはいわれます。恵みが流れ出る神の水門は開かれ、いつくしみの祝日が神の深いやさしさから現れたので、いかなる魂もどれほど罪深くて神に近づくのを恐れることはない、とイエスはいわれます。

本日の福音は、復活の後イエスがなされたことを記述しています。文章は死から甦られたその日の夕方、イエスが鍵をかけて集まっていた弟子たちの間に来て、立ったと私たちに告げることから始まります。弟子たちはイエスが生きているというよい知らせを受けていましたが、まだ敵を恐れ、家の中にいっしょに集まって隠れて座っていました。イエスは、彼らに神の愛と、いつくしみ、赦し、救いという「よい知らせ」を説くイエスのミッションを委ねました。彼らはイエスの恵みと力によりイエスのミッションをこの地上で続ける者です。イエスは彼らを力づけ、罪を赦し罪びとたちに神のいつくしみを伝える権能を彼らに与えます。

イエスが最初に弟子たちに現れたとき、トマスは彼らといっしょにいませんでした。その結果、彼は信じることを拒みました。後に主がトマスに現れたとき、主は「見ないで信じる者は幸いである」と言われました。トマスは復活のイエスを見て疑いに打ち勝ちました。彼は「私の主よ、私の神よ！」と叫びます。本日の福音は、あわれみの復活の主の全てを覆いつくす現存における信仰の重要性を強調しています。「見ないで信じること」は全てのキリスト者の体験です。私たちは、あわれみの復活の主に私たちの人生をあけ渡して、疑いと躊躇から解放されるように招かれています。

(Sr. Paulina)

復活節 第3主日

(ルカ24 : 35-48)

今日のみことばは、2人の弟子がエマオへ歩いていた際、イエスが現れて力づけられ、エルサレムに戻り、他の弟子たちに自分たち2人も、イエスに出会ったこと、すなわちエマオへの道でイエスに出会い、一緒に家に入った食事の際、パンを裂いて下さった時、イエスだとわかり、イエスが見えなくなられたことを話していたときの出来事です。

十一人の弟子とその仲間と集まって、本当にイエスが復活してシモンに現れたこと、先の2人の弟子も復活したイエスとの出会いを話していた時にイエスご自身が彼らの前に現れて、真ん中に立ち、語り掛けられました「あなたがたに平和があるように」と。

弟子たちの中にはシモンや先の2人の様に、復活されたイエスと出会っていない弟子もいたでしょう。イエスと出会ったという他の弟子たちの話を聞き、信じたいけれども信じられない。私には現れてくれないという思いもあったかも知れません。弟子たちは復活したイエスを証しし、伝えてゆくものとなってゆきます。信じないものではなく、信じるものになるために、イエスは弟子たちにお現われになって下さったのでしょう。

イエスが現れた時、弟子たちは亡霊を見ているのだと思い、恐れおののきましたが、弟子たちに納得させるため、手や足を見る様に、それだけでなく触ってよく見る様にと仰いました。そしてまだ信じられず不思議がる弟子たちのため、焼き魚を一切れ実際に弟子たちの前で食べられました。そしてさらには、神のみことばである聖書を悟らせるために、弟子たちの心の目を開いて下さり、説明して下さいました。

十字架に架けられ、私たちの罪を贖うために亡くなられたイエスは復活されました。弟子たちはメシアが苦しみを受け、三日目に死者の中から復活し、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人びとに宣べ伝えられる。その証人となって、エルサレムから始まって、世界に福音を宣べ伝えてゆくこととなります。

宣べ伝えられた福音を私たちは信じ、洗礼を受け、神の子とされ、今を歩んでいます。弟子たちの様にイエスと出会ったのではないですが、イエスと出会って、生きています。私たちも復活されたイエスを信じ、弟子たちの様に、イエスのことを福音を宣べ伝えてゆくものとなります様に。復活の証人となって歩んでゆくことができます様に。

(Fr. 古川利雅)

復活節 第4主日 (B)

(ヨハネ10：11－18)

復活節第4主日は、「良い羊飼いの主日」とも呼ばれています。また、世界召命祈願の日でもあります。福音では、良い羊飼いと雇い人である羊飼いのことが語られています。毎年、復活節第4主日では、心を込めて羊の世話をする良い羊飼いのイエスの姿を味わいます。良い牧者または羊飼いは、羊を青草の原に休ませ、憩わせます。イエスがいつも慰め主としてとどまってくくださるので羊には何も欠けることはありません。安全な99匹を置いて、迷った1匹の羊を探しに出かける良い羊飼いの姿には、1匹1匹に対するイエスの固有の愛がはっきりと現れています。

「良い羊飼い」は、羊を知り、羊はその声を聞き分けます。そうです！イエスは私たちそれぞれの徳、悪、必要なもの、心の痛み、悲しみ、喜びを何でもご存じです。不完全さもろとも私たちをありのままに愛されるイエスは、私たちに対し、み言葉を守ることでその愛に応えてほしいとお望みです。イエスは、洗礼、堅信、聖体、結婚、叙階等の秘跡を通じて永遠のいのちを私たちに与えられます。私たちは、ふさわしく秘跡的な生活をする事で、主の羊の群れに加わることができます。イエスの保護と摂理的な庇護は、終わることがありません。主は、サタン、悪霊や大罪のえじきにならないように私たちを救ってくださいます。罪人を含む私たち全員の救いのためにイエスは羊のための命を捨てます。何という大きな犠牲でしょう！これこそ自分を捧げ尽くす真の愛です。

本日、「良い羊飼いの主日」をお祝いするにあたり、私たちが良い羊となり、主の声に熱心に耳を傾け、自分を与え尽くす主の愛にならうことができるよう、主に祈り求めましょう。教会に奉仕する責任を負う私たちの羊飼いたち（司祭）が、イエスに従って教会に忠実に仕えることができるように祈りましょう。さらに、良い羊飼いの働きを続けるために、教会に真正な召命がありますように祈りましょう。

(Sr. Paulina)

いのちの言葉 4月

わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。
(ヨハネ 10・11)

聖書の時代のイメージ、たとえば遊牧民のゆっくりとした時間の流れる生活を思い浮かべるとき、効率性や競争力が追求される私たちの日常生活とは、ずいぶんかけ離れているように思えます。それでも、今だからこそ、私たちもちょっと立ち止まり、一息をつける場が必要です。そんな場で、自分をありのまま温かく受け入れてくれる誰かに出会いたいと思うのではないのでしょうか。

今月の「いのちの言葉」が引用されているヨハネ福音書の長い一節には、そのように私たちを迎え入れてくださるイエスの姿が登場します。他の誰よりも私たちを歓迎し、回復のための休息だけでなく、ご自分の命をも与えてくれる存在としてのイエスです。さらに、神が預言者たちを通してイスラエルの人々に約束されたように、私たち一人ひとりの歴史のうちにおられる神の存在としてのご自分を現わされます。イエスは、ご自分の羊たち、疲れ果てて、ときに迷子になっているご自分の民を知っており、愛しておられる羊飼いであり導き手です。その姿は、群れの必要を無視するようなよそ者や、群れを襲って殺したり散らしたりする盗人や山賊、はたまた金銭を得るためだけに行動する雇い兵などとは真逆のものです。

わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。

イエスがご自分のものと呼ぶ羊の群れとは、第一に弟子たちと、すでに洗礼の賜物を受けたすべての人たちを指しますが、それだけではありません。イエスはすべての人を知っていて、その名を呼び、一人ひとりを優しく世話してくださいます。

真の羊飼いとして私たちをいのちへと導き、道を踏み外すたびに探しに来られます。さらに、御父のみ旨が成就するために、イエスはご自分の命をすでにお捧げになりました。私たち一人ひとりと御父との交わりが満ち満ちたものとなり、罪によって致命的に傷つけられた兄弟愛を回復するためです。

私たち一人ひとり、神様の声を聞き分け、自分に向けられたみ言葉に信頼を持って聞き従うことができます。何よりも「私は良い羊飼いだ」と言うてくださる方に、無条件で愛され、理解され、赦されていることを確信することができます。

わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。

私たちの人生において、そこに静かで、力強いイエスの存在を少しでも体験するなら、きっと誰かにそのことを分かち合いたくなるのではないでしょう。そして、もっともっと隣人を気にかけて、温かく迎え入れたいという熱い思いが心に灯ることでしょう。

またイエスに倣って、家族、職場の人、近所の人たちをもっとよく知るように努め、相手が求めることに自分を合わせるできるようになります。

愛は私たちの想像力をさらに膨らませることができます。いろんな人と手を携えて、共に働くやり方も生み出せるでしょう。たとえ小さな形でも、人々の歩みに忍耐強く、勇気を持って寄り添える共同体、兄弟愛のうちに開かれた共同体を築くことに貢献できるでしょう。

キアラ・ルービックは、福音書のこの同じ箇所を黙想しながら、次のように書いています。

「イエスのご自分について、『友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない』（ヨハネ 15:13）とはっきり語られ、また実際に、その命をお捧げになりました。

イエスの愛は、自分自身を差し出す愛、つまり自分の命を捧げ、与える準備が実際にできている愛です。…神様は私たちに対しても、ご自分の愛と同じ尺度で愛すること、愛の行いをする事、少なくともそのような意向を持ち、そう決心することを求めておられます。「キリスト教的な愛」と言えるのは、このような愛だけです。それはちょっとした表面的な愛ではなく、命を賭けるほどの大きな愛です。…このような生き方をするなら、キリスト者としての私たちの生活は、充実し、すばらしく向上するでしょう。そして、地上のあらゆる所から、すべての人がイエスの声に引き寄せられて、彼の周りに集まって来るのを目にすることができるでしょう。」

レティツィア・マグリ

↑ エゼキエル 34:24-31 参照

↑ ルカ 15:3-7, マタイ 18:12-14 参照

↑ キアラ・ルービック 1997年4月のいのちの言葉より

連絡先: フォコラーレ 東京 03-3330-5619/03-5370-6424 長崎 095-849-3812

E-mail: tokyofocfem@gmail.com

ホームページ: <https://www.focolare.org/japan/>

跣足カルメル会総長館 HP からのニュースを紹介します。

総長館から6年ごとの跣足カルメル修道会の総会予定が発表されました。
パンデミック後の世界を見据えて、教会と共にまた新たな歩みが始まりますよう祈りましょう。

2021年 第92回 跣足カルメル修道会 総会の招集書簡

親愛なる跣足カルメル修道会司祭の皆様

跣足カルメル修道会の通常総会開催の時期が近づきましたので、総長顧問会は私たちの法規に従い、会憲 第167条に則り、2021年8月29日から9月19日まで、ローマのアウレリア通り472カサ・ラ・サールにて、総会を開催することを決定しました。

この手紙とともに、私は全ての総会で投票権を持つカルメル会士を、会憲168条に従い、上記において示しました場所と日程において総会に参加されるよう招集します。

次の総会において発言権を持つカルメル会士は、法の規定に従い、次の通りです。

- 総長
- 総長顧問（7）
- 管区 又は 準管区の管区長（38）
- 各管区から1名、又は合法的に妨げられた場合の代理者（29）
- カリブ海、チリ、コンゴ、インドネシア、マダガスカルーインド洋、ペルー、フィリピン、シチリア、地方の地区長（8）
- アルゼンチン、エジプト、日本、イスラエル、台湾—シンガポール、ベエネズエラの総長代理（6）
- オーストラリアの地区長代理
- ウルグアイー ポリビアー パラグアイの地区長代理
- ブルンジイー ルワンダの地区長代理
- ケニア、マラウィ、ウガンダの兄弟たちの長上。交代制によりウガンダ宣教の代表者が今回参加。
- 西アフリカ、カメルーン、中央アフリカ共和国の兄弟たちの代表者。交代制により西アフリカ宣教の代表者が今回参加。
- ベラルーシとウクライナの兄弟たちの長上。交代制によりベラルーシ宣教の代表者が今回参加。
- チャッティスガル、オディシャ、ラーンチイー、西ベンガル、の兄弟たちの長上。交代制によりチャッティスガル宣教の代表者が今回参加。

総会参加者の総数は96名です。

神がこの総会の成功のために豊かな恵みを注いでくださるよう、私からすべての跣足カルメル修道会の兄弟たち、修道女、在世会の皆さんに、お祈りを重ねてお願いします。

2021年3月3日 ローマにて

総長 ザベリオ・カニストラ 神父 o. c. d.

総秘書 アンジェロ・ランフランキ 神父 o. c. d.

糸巻き棒からペンへ(63)

現代人のためのイエスの聖テレジアの教え

エドゥアルド・サンス OCD

福音を宣教したいという強い欲求とともに、生活に苦しむ貧しい人々への感性やキリスト教に改宗した人々のための正義の欲求も成長していきます。聖ヨゼフ修道院が創立された年、聖女は、ペドロ・イバニェス神父に第二の『良心の糾明』を書いています。そこで、自分の祈りやその領域での発展について報告しています。「私は、以前よりずっと貧者に対して思いやり深くなったように思います。彼らの惨めさは私を強くゆさぶり、彼らを助けたいという望みは燃え上がって、もし望みのままにするなら、自分の着ている物さえも与えてしまうことでしょう。私は彼らに語りかけるのにも触れるのにも、少しも嫌気を感じません。これこそ神の賜物であることがはっきり分かります。もちろん以前にも、神への愛のために、彼らに施しをしていたには違いありません。けれども、その時はまだ彼らを憐れむように自然に心が傾いてはいませんでした。それでこの点について自分がよくなったことが、はっきりと認められます」(CC2,5)。

もっと後で、兄弟ロレンソに宛てた手紙の中で、アメリカ征服に関して受け取った情報によって、彼女がひどく苦しんだと述べています。「それほど多くの霊魂が減びていくのを見るのは、哀れに思います。これらのインディオたちは、私にとってどうしてもよい人々ではありません。主が彼らに光をお与えくださいますように。あちこちに不幸が起きていますので。多くの人々が私にいろいろ話しているので、私は何と云うべきか分かりません。私たちは、獣より悪い者です」(手紙 24, 20)。

落ち着いたない放浪好きの女

テレジアは、聖ヨゼフ修道院の小さな修道院での平和を味わっていました。「あのようになんて清らかで聖なる人々の間で一緒に生活することは、私にとってほんとうに楽しいことでした。彼女たちの関心のすべては、ひたすら私たちの主に仕え、私たちの主を賛美することでしたから」(『創立史』1・2)。

(P.九里訳)

カルメル誌 新刊案内



2020年 冬号 No.379

《現代に生きる祈りの伝統》**

桐生聖クララ会—新しい修道会、新しい生活
シスター・マリア・イルミナータ

信仰生活(再)入門(12) 聖書に学ぶ祈りの道(4)
—現代のための神のみことば、テレーズとともに②

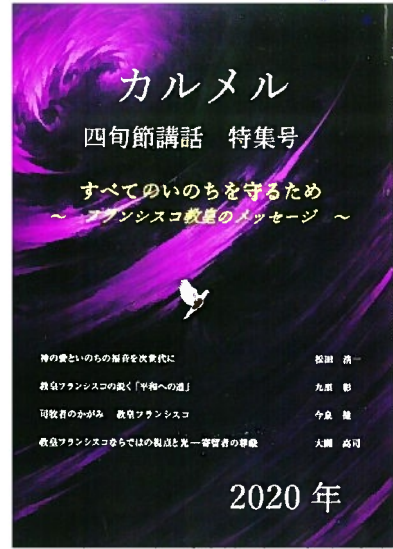
片山はるひ
道の靈性(4)—幼い者の隠れた道 田畑邦治

キリストに伴われて季節を巡る(12)
—クリスマスの歎び 伊従信子

クリスマスのメッセージ 二〇二〇
ポーリン・フェルナンデス

カルメル会の会則に見る
アシェーシスと修道生活(12) 九里 彰

靈的研究会講義録(10)—聖書・祈り・愛について
奥村一郎



2020年 特集号

「すべてのいのちを守るため」
—フランシスコ教皇のメッセージ—

神の愛といのちの福音を次世代に
松田浩一

教皇フランシスコの説く「平和への道」
九里 彰

司牧者のかがみ 教皇フランシスコ
今泉 健

教皇フランシスコならではの視点と光
—寄留者の尊厳
大瀬高司

ご案内 1冊 520円 A5サイズ 50~70ページ

サンパウロ・ドンボスコ書店・イグナチオ教会案内所・上野毛教会信徒ホール本コーナー・
各カルメル会黙想の家 他にてお求め下さい

●送付ご希望の方は、700円【520円 (+送料 180円)】程度の献金を下記へお振込み下さい

●年間での継続送付ご希望の方は、年会費(年5冊:春夏秋冬+特集号 計 3,500円)を
下記へお振込み下さい

郵便振替:00190-4-195457 跣足カルメル修道会

※2021年度より料金が変わります(1冊 580円 年間購読 3,600円)

●お問い合わせは、事務担当:内田幸子宛に上野毛修道院へ手紙かファックス、又は e-mail で。
〒159-0093 世田谷区上野毛 2-14-25 Fax: 03-3704-1764

E-mail: carmelshi.jimu@gmail.com

書籍案内



『パンデミック後の選択』

著者：教皇フランシスコ

判型：四六・並製

ページ数：80 ページ

価格：本体 500 円（税込 550 円）

ISBN：978-4-87750-224-9

出版社：カトリック中央協議会

無関心のグローバリゼーションは、わたしたちをその歩みにおいて危険にさらし挑発し続けます。どうかわたしたちが、正義と愛と連帯という必須の抗体を見いだせますように。

COVID-19 という人類の危機から生まれうる、貧しい人、弱い立場にある人を中心にした、新しい世界を築くための手掛かり。

カトリック中央協議会

バチカン出版局より刊行された Life After the Pandemic の邦訳。パンデミックに言及する 8 つの文書を収録。高い感染リスクにさらされながらも他者に献身する人々や、収入が絶たれたり、在宅要請を守るのが難しかったりする弱い立場の人々に心を寄せつつ、困難な試練を新しい選択への好機に変えるよう励ます。単にパンデミック以前を取り戻すのではなく、連帯を示し、もっとも傷つきやすい人を中心にした社会を構築すべきとの呼びかけ。

目次・内容

- 序（マイケル・ツァーニー枢機卿, SJ）
- なぜ怖がるのか（特別な祈りの式におけるウルビ・エト・オルビのメッセージ、2020年3月27日、サンピエトロ大聖堂前にて）
- コロナ後への備えの重要性（ロベルト・アンドレス・ガラルド氏あて書簡、2020年3月28日付）
- 新たな炎のように（2020年復活祭ウルビ・エト・オルビのメッセージ、2020年4月12日、サンピエトロ大聖堂にて）
- 目立たぬ兵士たち（草の根市民運動あて書簡、2020年4月12日付）
- 再起計画（雑誌 Vida Nueva（新しい生）への書き下ろし、2020年4月17日）
- エゴイズム——より悪質なウイルス（復活節第二主日（神のいつくしみの主日）説教抜粋、2020年4月19日、サントスピリト・イン・サッシア教会にて）
- ストリートペーパー関係者へ（2020年4月21日付書簡）
- 地球規模の問題を乗り越える（第50回アースデイについての一般謁見講話抜粋、2020年4月22日）
- 付録（マリアへの祈り一、二）
- あとがき

新書紹介

十字架の聖ヨハネ理解のための

待望の書 翻訳刊行



『十字架の聖ヨハネの霊性』

フェデリコ・ルイス師の講話
〈十字架の聖ヨハネ・霊性神学研究の第一人者〉

著者：フェデリコ・ルイス

訳者：九里 彰

判型：B6 判並製

ページ数：184 ページ

価格：本体 1,600 円+税

ISBN：978-4-8056-3918-4 C0016

発行：サンパウロ

スペインで「詩人の守護聖人」と称される十字架の聖ヨハネは、日常生活の中で神との親密な関係を生き、キリストと、隣人との愛の交わりを生きた聖人でした。自身の神体験を詩で表し、自らそれを解説し、著作として残しています。彼は決して近寄り難い人物だったわけではなく、バランスの取れた温厚な人でした。

インターネットや AI が発達する、「霊性の時代」といわれる現代において、神との出会いを生きる真の意味を、十字架の聖ヨハネの思想、生涯の中に探ることができます。

十字架聖ヨハネを正しく理解することは、霊性を正しく理解することの基礎となっていくます。

フェデリコ・ルイス・サルバドル

1933 年スペイン、バレンシア生まれ。1950 年跣足カルメル修道会入会。

1957 年司祭叙階。ローマ・カルメル会国際神学大学テレジア・ヌム教授。

2018 年 10 月 27 日マドリードにて帰天。享年 85 歳

九里 彰

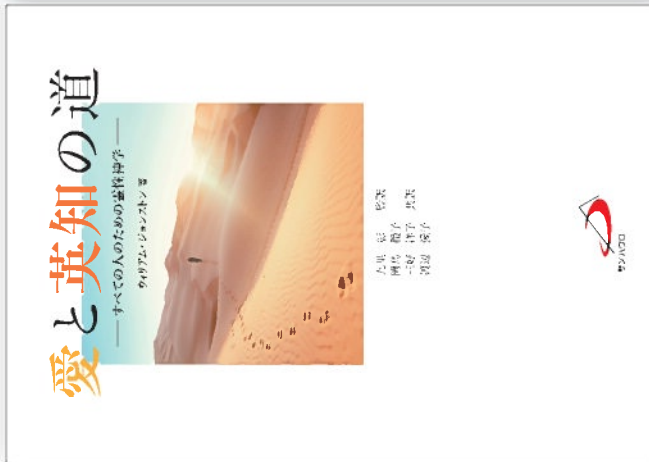
カイルメル修道会司祭。1981 年上智大学大学院哲学専攻、博士後期課程修了。1990 年カルメル会入会。1997 年司祭叙階。1999~2002 年スペイン留学。カルメル修道会 元日本地区総長代理。現在、金沢広坂修道院院長

愛と英知の道

—すべての人のための霊性神学—

ウィリアム・ジョンストン 著

九里 彰 監訳
岡島 禮子 三好 洋子 渡辺 愛子 共訳



西洋と東洋の神秘主義の伝統に通暁した著者が、21世紀というグローバル化し、「地球家族」となった現代世界のすべてのキリスト者に遺した霊的生涯の道しるべ。「すべての人は、聖職位階に属している人も、あるいはそれによって牧されている人も、皆聖性へと召されている。『あなたが聖なる者となること、これが神の望みである』と使徒が言っているとおりである」（『教会憲章』39）。

本書は、十字架の聖ヨハネが16世紀に向けてなしたことを、21世紀に向けて行なおうとする、ささやかな試みです。言いかえると、その目的は、命の水を渴望する人たちへ、観想的な祈りを教えることです。筆者は、主にキリスト信者を念頭に置いて筆を進めますが、真理の探究において私と心をもと心一つにし

第一部 キリスト教の伝統

- 第1章 福音書(1)
- 第2章 福音書(2)
- 第3章 理性対神秘主義
- 第4章 神秘主義と愛
- 第5章 東方のキリスト教
- 第6章 愛を通して生まれる英知

第二部 対話

- 第7章 科学と神秘神学
- 第8章 修徳主義とアジア
- 第9章 神秘主義と根源的なエネルギヤ
- 第10章 英知と(空)

第三部 現代の神秘的な旅

- 第11章 信仰の旅
- 第12章 浄化の道
- 第13章 暗夜
- 第14章 (愛のうちにある)
- 第15章 花嫁と花婿
- 第16章 一 致
- 第17章 英知
- 第18章 活動
- 第19章 社会活動の神秘主義

ウィリアム・ジョンストン William Johnston S.J. (1925-2010)

北アイルランドのベルファストに生まれる。

イエズス会に入会し、26歳で来日。

32歳で司祭に叙階され、以後、英語、英文学、宗教学、宗教学を上智大学などで講じるかたわら、東西の宗教思想、特に神秘主義の研究と普及に尽力。パドロー・アルベ、トマス・マートン、ダライ・ラマ、永井隆、遠藤周作との出会いを通して、次々と著作を発表。現代に則した霊性探求の先駆者として、世界に広く知られている。85歳で帰天。





書籍案内

生きる意味

●キリスト教への問いかけ

清水正之・鶴岡賀雄・桑原直己・釘宮明美 編

A5判・312頁・2500円+税

ISBN978-4-87232-100-5

東日本大震災と原発事故によって喚起された「生きる意味」という愚直な問い。その答えを示すことこそが、「宗教」である。グローバル化に伴う経済格差、労働のあり方、宗教の役割など——危機にさらされている人間の救済の道を探る。

———目次———

- 序 「生きる意味への問いかけ」がなされる場をめぐって／鶴岡賀雄
- 1 東日本大震災と宗教／中下大樹
- 2 宗教と社会と自治体の災害時協力／稲場圭信
- 3 東日本大震災に思うこと／佐藤純一
- 4 脱原発の倫理／久保文彦
- 5 何のために働くのか／神谷秀樹
- 6 グローバル化する経済の中の人間／勝俣 誠
- 7 私たちの社会に希望はあるか？／宮台真司
- 8 関係の倫理学／清水正之
- 9 宗教が医療・医学に果たした役割、果たすことが期待されている役割／加藤 敏
- 10 V・フランクルのロゴセラピー／桑原直己
- 11 「神の子となる」——カルメルの霊性と共に／★九里 彰★
- 12 「おかげさま」の言語化と生き方による霊性化／中野東禅
- 13 エディット・シュタイン『十字架の学問』への道とその霊性／釘宮明美

オリエンス宗教研究所 TEL:03-3322-7601 FAX:03-3325-5322

ご注文は全国のキリスト教書店、オリエンスHP、FAX、ネット書店などへ

2020年のご案内

年間テーマ 手をとりあい、白ら歩み出す



大瀬高司 師

好評の2019年の連載「カトリックの信仰を生きた愛国者・ステファノ山本信次郎」に引き続き大瀬高司神父の新連載が始まります。

●近代日本の歩みとカトリック教会
——山本信次郎研究ノートより
大瀬高司（カルメル修道会司祭）

山本信次郎研究で得られた成果から、近代日本のカトリック教会での出来事や人物を取り上げ、これまであまり知られていないエピソードを中心に紹介します。

その他の新連載

- アンジェラスの鐘／加藤美紀（教育学者）
- 知恵ある者たちのアフォリズム／加藤久美子（聖書学者）
- かたわらに、今、たたずんで／大野高志（日本基督教団牧師）
- 聖歌と賛歌——民衆霊性と多様性から
杉本ゆり（中世教会音楽研究者）
- 新米神父の開拓奮闘記／大西勇史（広島教区司祭）
- いのちの交わりの場——エコロジカルな暮らしのために
吉川まみ（環境学者）

継続連載

- 典札暦と季節の味わい（応用編）
柳谷晃子（食文化研究所主宰）



月刊『福音宣教』お申し込み方法

◇郵便局に備えつけの振替用紙にて年間定期購読料を下記口座までお振り込みください。ご入金確認後、発送いたします。

- 口座番号：00170-2-84745
- 加入者名：オリエンズ宗教研究所
- ご購読料：7500円（税・送料込）
- 備考欄：「福音宣教～月号から」とご希望の開始月をご明記ください。ご指定がなければ、最新号からお送りいたします。

年間定期購読料（年11回、8・9月合併号）7500円（税・送料込）一部定価600円＋税

オリエンズ宗教研究所 〒156-0043 東京都世田谷区松原 2-28-5
Tel 03-3322-7601 Fax 03-3325-5322 <https://www.oriens.or.jp/>



福者マリー=ユジェーヌ神父に導かれて
十字架の聖ヨハネの
ひかりの道をゆく

伊従 信子 編・訳

ISBN978-4-88216-372-5 C0195

定価**540**円(税込)

【聖母文庫】**287**

**第2版
好評発売中!**



マリー = ユジェーヌ神父が十字架の聖ヨハネ
を生き、体験し、確認した教えなのです。
ですから、十六世紀の十字架の聖ヨハネの
教えは現代の人々にも十分適応されます。
また、神の命を伝え、実践的手段を示して
聖性の最も高い段階へと導こうとする彼の
配慮が伝わってきます。(「はじめに」より)

神と親しく生きる
いのりの道

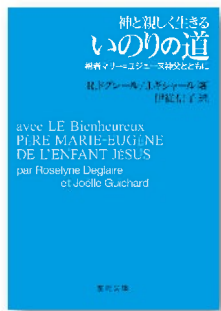
福者マリー=ユジェーヌ神父とともに

R. ドブレール / J. ギシャル 著

伊従 信子 訳

ISBN978-4-88216-307-7 C0195 【聖母文庫】**246**

定価**540**円(税込) 209頁



わたしは神をみたい
いのりの道をゆく

マリー=ユジェーヌ神父とともに

伊従 信子 編・著

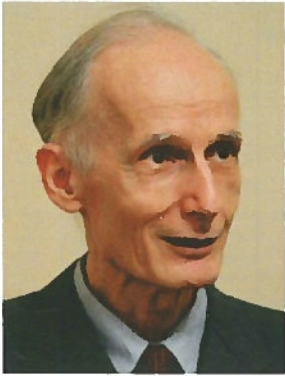
ISBN978-4-88216-339-8 C0195 【聖母文庫】**268**

定価**648**円(税込) 281頁



ご注文・お問い合わせ先

聖母の騎士社 ☎850-0012 長崎市本河内2-2-1
TEL.095-824-2080 FAX.095-823-5340



クラウス・リーゼンフーバー小著作集

(全五巻) 四六版・434頁～628頁

各巻 本体 3,800～5,000 円+税

著者は日本における中世哲学研究を牽引し、広汎にわたるキリスト教思想史の著述や編集・出版を手がけてきた。宗教家としても、キリスト教信者のみならず信仰に初めて出会う一般社会人と広く向き合い、講座や黙想会などを開いてキリスト教の精神と実践、信仰における超越との関わりを伝えている。人間の自己理解から出発し、聖書と哲学的な理解とを構築して、キリスト教信仰と霊性を現代人にとって生き生きとした形で展開している。講義、執筆活動をとおして西洋古代・中世さらに現代哲学思想をわかりやすく説く。この著作集は40余年の著述活動による150余の小論考からなっており、霊的な信仰理解と人間の経験とを結びつけて互いに支え合うものとして示そうとするものである。

人生の意義の解明と存在への問い。人生をめぐる哲学的・思想史的・人間論的な諸観点のもとで、聖書に基づいて第一根源である神を中心に展開する。

		ISBN
第1巻	I 超越体験 一宗教論 宗教の人間論的基礎付けを「意義への問い」という観点から考察した宗教哲学論文集。宗教的理解と経験がキリスト教的精神に基づいて絡み合い、人間の心を考察して全体の根源的な起源へ向ける。全11作、434p	定価(本体+税) 9784862852151 3,800 円+税
第2巻	II 真理と神秘 一聖書の黙想 日常生活を貫いて人間とかわる絶対的神秘を、聖書を紐解きつつ多面的な観点から浮き彫りにする。超越との関係を求める人に向けて、宗教的経験を解明する。全35作、544p	978-4862852175 4,600 円+税
第3巻	III 信仰と幸い 一キリスト教の本質 主の祈り、信条の命題に沿って信仰の全体像を解説。「山上の説教」をとおして人生における艱難辛苦にも焦点を合わせる。十字を切ることの意味など、聖霊の神学と霊性から信仰生活の深みを照らす。全38作、628p	9784862852205 5,000 円+税
第4巻	IV 思惟の歴史 一哲学・神学的小論 古代から中世のキリスト教思想史の考察の上に立脚し、現代における信仰をめぐる根本的な問いを洞察する。人間と神理解の可能性を新たに広げて信仰生活の深みに掘下げる。全41作、448p	9784862852212 4,000 円+税
第5巻	V 自己の解明 一根源への問いと坐禅による実践 信仰との関わり合いの薄い現代人に向け、自己への問いから発した人生の意義と超越への方向付けを見出す実践的な道筋を示唆する。「今」を中心とする存在論・時間論を展開した最終講義「時間です!」収録。全35作、470p	9784862852229 4,200 円+税

●リーゼンフーバー、クラウス [Riesenhuber, Klaus]

1938年ドイツ生まれ。1958年イエズス会入会。1967年ミュンヘン大学哲学博士。同年来日。1969年上智大学文学部哲学科専任講師。1971年東京で司祭叙階。1974年上智大学中世思想研究所所長(～2004)。1981年上智大学教授。1989年上智大学神学博士。国公立大学で客員・非常勤講師。放送大学客員教授。2009年上智大学名誉教授。現在は哲学的人間論および宗教哲学などの講座を開講。

知 泉 書 館

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-13-2 TEL: 03-3814-6161 FAX: 03-3814-6166

<http://www.chisen.co.jp>



奥村一郎選集

追悼 奥村一郎師

その時と場所で与えられた役割を
誠実に果たし続けた師が遺す珠玉の名編

四六判・上製・平均 240 頁・各巻とも **本体 2000 円**+税

日本の文化の中で福音が豊かに開花することを求めて祈り、思索した奥村一郎師。本選集は半世紀にわたるその膨大な著作、講演等の記録から特に重要と思われるものを選び、テーマ別に集成したものです。豊かな霊性をたたえた祈りの人であり、東西霊性交流など宗教対話のダイナミックな推進者。静謐さと情熱を併せ持つ著者が紡ぎ出してきた言葉の数々は、神と人に真摯に向かう姿を私たちに示してくれます。ときにユーモアを交えたその視座は、日本における福音宣教を願うすべての人々にとっての道標となることでしょう。

第1巻



慈悲と隣人愛 解説・西村恵信

日本文化に影響を与える仏教の光を当てつつ聖書を読み、キリスト教の本質理解に近づく。カトリックから禅へ／小事と瑣事／禅とキリスト教における靈的修行

第2巻



多文化に生きる宗教 解説・橋本裕明

宗教対話と霊性交流から得られた柔軟な視点から、日本での新たな宣教の可能性を示す。大いなる贈け——宗教対話／日本人とキリスト教——遠藤文学の魂

第3巻



日本の神学を求めて 解説・小野寺 功

日本の地に根ざす神学、その開花の可能性を福音の原点である相互愛から問いかける。日本の神学——根源への問い／相互愛／「信ずる」と「愛する」／新しい旋

第4巻



日本語とキリスト教 解説・阿部仲麻呂

関係性を重視する表現が中心となる日本語を手がかりに、ことばと信仰の関係を再考する。日本人の心とその精神構造／「ことば」から「みことば」へ／聖書と翻訳

第5巻



現代人と宗教 解説・鶴岡賀雄

宗教不在とされる現代、人々が直面する課題にキリスト教はどう向き合っているのか。現代人とキリスト教／偶像の喪失／退屈／「新しい人」としての真人

第6巻



永遠のいのち 解説・八木誠一

生と死、罪と恵み、正義と愛——人間の栄光と悲慘を見極め、永遠のいのちへの道を探る。嬰兒復帰／人間の栄光と悲慘／神は死せり／十字架の秘義／人間と世界と神

第7巻



カルメルの霊性 解説・高園泰子

愛ゆえにすべてを、命さえも失ったイエスを追い求めるカルメル。その霊性の根源に迫る。アビラのテレジア／十字架のヨハネ／小さきテレーズと東洋的霊性

第8巻



神に向かう〈祈り〉 解説・高橋重幸

東西における祈りの方法論を丹念にたどりつつ、キリスト教の祈りの本質を明らかにする。考える祈り、思う祈り、愛する祈り／現代における祈りの指導者／祈りとは何か？

第9巻



奉獻の道 解説・宮本久雄

すべての人にみずからを与えつくす奉獻生活を通して、人間そのものの神秘を見つめる。清らかな矛盾／世を変えるパン種として／清貧の誓願／現代に生きる修道者の霊性

カルメル会会員、在俗会メンバーの方々には特別割引があります。直接お問い合わせ下さい。

オリエンズ宗教研究所 〒156-0043 世田谷区松原 2-28-5

TEL : 03-3322-7601 FAX : 03-3325-5322

ホームページ : <http://www.oriens.or.jp/>

カルメル会の企画案内



カルメル会の標語

Zelo zelatus sum pro Domino Deo exercituum

私は万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました（列王記上 19 : 10）



東京 上野毛 霊性センター

黙想企画 **上野毛 聖テレジア修道院 (黙想) **
(2021年～)

- ・祭日のミサに参加するために

チェックイン午後3時以降可、チェックアウト午前10時

【聖週間】

聖木曜日から復活祭まで通して参加できます。またどの曜日からでも参加可能です。

4月1日(木)夕食～4月4日(日) 朝食 《講話なし、各食3付》

【クリスマス】

12月24日(金)～25日(土) 朝食 《講話なし、夕食なし》

- ・聖書深読黙想会(土曜日17時～日曜日16時) 大瀬高史 神父

4月24日(土)～25日(日)

11月27日(土)～28日(日)

5月29日(土)～30日(日)

2022年

7月 3日(土)～ 4日(日)

1月 8日(土)～ 9日(日)

8月28日(土)～29日(日)

3月12日(土)～13日(日)

10月 2日(土)～ 3日(日)

- ・《カルメル会聖人に学ぶ黙想会》(水曜日10時～16時・昼食付) カルメル会士

4月21日 5月19日 6月16日 7月21日

9月22日 10月20日 11月17日 12月15日

2022年 1月19日 2月16日 3月16日

- ・一泊黙想会 (土曜日17時～日曜日16時) カルメル会士

5月22日(土)～23日(日)

2022年

7月24日(土)～25日(日)

1月29日(土)～30日(日)

9月25日(土)～26日(日)

3月19日(土)～20日(日)

11月20日(土)～21日(日)

- ・ 奉獻生活者のための黙想会（初日 17時～最終日朝食） カルメル会士
 8月 1日(日)～10日(火)
 8月16日(月)～25日(水)
 12月27日(月)～1月 5日(水)
- ・ 青年黙想会(男女) 35歳まで(初日16時～翌日16時) カルメル会士
 2022年 3月25日(金)～27日(日)
- ・ 召命黙想会(男女)40歳まで(初日16時～翌日16時) カルメル会士
 11月 5日(金)～7日(日)
- ・ カルメル会召命黙想会(対象男子) (土曜日16時～日曜日16時)カルメル会士
 4月10日(土)～11日(日) 2022年
 6月12日(土)～13日(日) 2月26日(土)～27日(日)
 10月 9日(土)～10日(日)
 12月11日(土)～12日(日)
- ・ 特別黙想会(初日20時～最終日16時)Sr. 伊従信子(ノートルダム・ド・ヴィ)
 6月18日(金)～20日(日)
 11月12日(金)～14日(日)
- ・ キリスト教霊性入門(10時～16時 昼食付) 松田浩一神父
 4月8日(木) 5月13日(木) 6月17日(木) 7月8日(木)

- * 日程、指導司祭は変更される可能性もあります。お申込みの際には、ホームページ (<http://www.carmel-monastery.jp>) なども合わせてご覧下さい。
- * こちらに掲載されている以外の日時にもご利用可能です(グループ、個人いずれも)。お気軽にお問い合わせください。
- * 間違いを避けるため、お問い合わせはFAX・はがき・Eメール等、文書でお送り頂けますと幸いです。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

聖テレジア修道院(黙想)

Tel:03-5706-7355 Fax:03-3704-1789

Eメール: mokusou@carmel-monastery.jp

ホームページ: <http://www.carmel-monastery.jp>



★★★カルメル会召命黙想会★★★

カルメル会の靈性を生きることとおして教会に生涯を奉げる道があります。聖テレジアや十字架の聖ヨハネらの教えに培われて、人々に祈りと兄弟的な生活を証ししていく道です。この道に関心を抱き、心に神の呼びかけを感じている方のお手伝いをさせていただきたいと思ひます。

指導：カルメル会士

対象：カルメル会の召命に関心のある男子

場所：カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

日時：2021年 4月10日（土）～11日（日） 16時～翌日16時

6月12日（土）～13日（日） //

10月9日（土）～10日（日） //

12月11日（土）～12日（日） //

2022年 2月26日（土）～27日（日） //

会費：¥5000（3食付き）

*お問合せ お申し込み：

カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25

TEL.03-5706-7355 FAX.03-3704-1789

Eメール mokusou@carmel-monastery.jp



カルメル青年黙想会

イエスの心



- 日時 : 2021年5月14日(金)16時～16日(日)16時
場所 : カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)
対象 : 青年男女(16歳～35歳まで)
定員 : 8名
費用 : 一般 10,000円 学生 5,000円
締切 : 2021年5月7日(金)
指導 : カルメル会士

※住所・氏名・性別・年齢・電話番号・所属教会名を記入し、ハガキ・FAX・E-mailの何れかで下記まで。折り返し、こちらよりご連絡させていただきます。

158-0093 世田谷区上野毛2-14-25

カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)

電話 : 03(5706)7355

FAX : 03(3704)1789

E-mail : mokusou@carmel-monastery.jp



宇治カルメル会 黙想会案内 (2021年度)

【一般のための黙想】 中川博道神父
1泊2日 (土曜午後5時～日曜午後4時)
5:30 サルヴェ・レジーナ (修道院) から開始
6/5～6 7/17～18
9/18～19 10/30～31

【聖書深読】 (午前10時～午後4時) 中川博道神父
6/26 7/24 9/4
10/2 11/6 12/18

【水曜黙想会】 (第3水曜日) (午前10時～午後4時)
4/21 5/19 6/16 7/21
9/15 10/20 11/17 12/15
(6/20 7/21 11/17 カルメル宣教修道女会 Sr. ロサ)
他すべて 中川博道神父

【ゴールデンウィーク黙想会】 中川博道神父
5/1 (土) 午後5時～5/8 (土) 午前10時
参加期間は、全日通しでもどの曜日からでも自由です。

【カルメルの霊性】 (午後5時～午後4時) 中川博道神父
幼きテレジア 10/2 (土)～3 (日)
十字架の聖ヨハネ 12/11 (土)～12 (日)

【奉獻生活者の黙想】 (午後5時～午前9時) 一般可
7/29 (木)～8/7 (土) 中川博道神父
8月 (日時未定) 大瀬高司神父
(決まり次第HPでお知らせします)
9/20 (月)～29 (水) 中川博道神父
11/8 (月)～17 (水) 中川博道神父
12/27 (月)～1/5 (水) 中川博道神父

【待降節黙想会】 (午後5時～午後4時) 中川博道神父
12/4 (土)～5 (日)

【祭日のミサに参加するために】

*＜聖週間を祈る＞

チェックイン午後4時以降可、チェックアウト午前11:30
聖木曜日から復活祭まで通してどの曜日からでも参加可。(講話なし 食事つき)

*＜クリスマス＞

12/24～25

チェックイン午後4時以降可、チェックアウト午前11:30
(講話なし 食事つき)

ーその他皆さまが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたしますー

☆お申し込みは電話でも受け付けておりますが、できるだけFAX、はがき、Eメールでお名前と連絡先を御記入の上、お申込み下さい。お電話はなるべく午前9時～午後5時の間にお願い致します。受付が休みの場合はその場ですぐにお返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせ下さる様をお願い致します。



〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12

宇治カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)

Tel 0774-32-7016 Fax 0774-32-7457

E-Mail: teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

キリスト教放送局 **FEBEC** 2020.10~2021.3

**2020年秋冬
番組案内**

AMラジオ放送 AM1566kHz 毎夜9:30~
〈全国放送〉
インターネット放送 www.febcjp.com 〈毎日更新〉

<p>日 夜9:30~ [月~金] 夜9:30~ FEBEC TODAY - 今日の聖書・今週の讃美歌 - 恵子の郵便ポスト FEBECメインパーソナリティ 吉崎恵子</p>	<p>月 夜9:48~ 神父さま、 こんにちは 聞いても いいですか? (再) 百瀬文晃 カトリックイエス会司祭 お相手・吉崎恵子</p>	<p>火 夜9:47~ [再開] 夜9:47~ 嘆きに込める 神の御言 金田聖治 日キ教会 上田教会牧師</p>	<p>水 夜9:47~ [再開] 夜9:47~ Session - イエスの Tuneに 合わせて 早矢仕宗伯 [NCAMイエスの風] 牧師 塩谷達也 コスベル シンガー</p>	<p>木 夜9:37~ [再開] 夜9:37~ イエスとの 対話の旅 - 現代霊性神学講座 中川博道 カトリック・ カールメルケル会 修道院司祭</p>	<p>金 夜9:30~ 旧約聖書の ころ-詩編- (再) 雨宮慧 カトリック・東京教区司祭、 上智大学神学部名誉教授</p>	<p>土 夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>
<p>夜9:48~ 神父さま、 こんにちは 聞いても いいですか? (再) 百瀬文晃 カトリックイエス会司祭 お相手・吉崎恵子</p>	<p>夜9:47~ 嘆きに込める 神の御言 金田聖治 日キ教会 上田教会牧師</p>	<p>夜9:47~ [再開] 夜9:47~ Session - イエスの Tuneに 合わせて 早矢仕宗伯 [NCAMイエスの風] 牧師 塩谷達也 コスベル シンガー</p>	<p>夜9:37~ [再開] 夜9:37~ イエスとの 対話の旅 - 現代霊性神学講座 中川博道 カトリック・ カールメルケル会 修道院司祭</p>	<p>夜9:30~ 旧約聖書の ころ-詩編- (再) 雨宮慧 カトリック・東京教区司祭、 上智大学神学部名誉教授</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>
<p>夜9:48~ 神父さま、 こんにちは 聞いても いいですか? (再) 百瀬文晃 カトリックイエス会司祭 お相手・吉崎恵子</p>	<p>夜9:47~ 嘆きに込める 神の御言 金田聖治 日キ教会 上田教会牧師</p>	<p>夜9:47~ [再開] 夜9:47~ Session - イエスの Tuneに 合わせて 早矢仕宗伯 [NCAMイエスの風] 牧師 塩谷達也 コスベル シンガー</p>	<p>夜9:37~ [再開] 夜9:37~ イエスとの 対話の旅 - 現代霊性神学講座 中川博道 カトリック・ カールメルケル会 修道院司祭</p>	<p>夜9:30~ 旧約聖書の ころ-詩編- (再) 雨宮慧 カトリック・東京教区司祭、 上智大学神学部名誉教授</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>
<p>夜9:48~ 神父さま、 こんにちは 聞いても いいですか? (再) 百瀬文晃 カトリックイエス会司祭 お相手・吉崎恵子</p>	<p>夜9:47~ 嘆きに込める 神の御言 金田聖治 日キ教会 上田教会牧師</p>	<p>夜9:47~ [再開] 夜9:47~ Session - イエスの Tuneに 合わせて 早矢仕宗伯 [NCAMイエスの風] 牧師 塩谷達也 コスベル シンガー</p>	<p>夜9:37~ [再開] 夜9:37~ イエスとの 対話の旅 - 現代霊性神学講座 中川博道 カトリック・ カールメルケル会 修道院司祭</p>	<p>夜9:30~ 旧約聖書の ころ-詩編- (再) 雨宮慧 カトリック・東京教区司祭、 上智大学神学部名誉教授</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>
<p>夜9:48~ 神父さま、 こんにちは 聞いても いいですか? (再) 百瀬文晃 カトリックイエス会司祭 お相手・吉崎恵子</p>	<p>夜9:47~ 嘆きに込める 神の御言 金田聖治 日キ教会 上田教会牧師</p>	<p>夜9:47~ [再開] 夜9:47~ Session - イエスの Tuneに 合わせて 早矢仕宗伯 [NCAMイエスの風] 牧師 塩谷達也 コスベル シンガー</p>	<p>夜9:37~ [再開] 夜9:37~ イエスとの 対話の旅 - 現代霊性神学講座 中川博道 カトリック・ カールメルケル会 修道院司祭</p>	<p>夜9:30~ 旧約聖書の ころ-詩編- (再) 雨宮慧 カトリック・東京教区司祭、 上智大学神学部名誉教授</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>
<p>夜9:48~ 神父さま、 こんにちは 聞いても いいですか? (再) 百瀬文晃 カトリックイエス会司祭 お相手・吉崎恵子</p>	<p>夜9:47~ 嘆きに込める 神の御言 金田聖治 日キ教会 上田教会牧師</p>	<p>夜9:47~ [再開] 夜9:47~ Session - イエスの Tuneに 合わせて 早矢仕宗伯 [NCAMイエスの風] 牧師 塩谷達也 コスベル シンガー</p>	<p>夜9:37~ [再開] 夜9:37~ イエスとの 対話の旅 - 現代霊性神学講座 中川博道 カトリック・ カールメルケル会 修道院司祭</p>	<p>夜9:30~ 旧約聖書の ころ-詩編- (再) 雨宮慧 カトリック・東京教区司祭、 上智大学神学部名誉教授</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>
<p>夜9:48~ 神父さま、 こんにちは 聞いても いいですか? (再) 百瀬文晃 カトリックイエス会司祭 お相手・吉崎恵子</p>	<p>夜9:47~ 嘆きに込める 神の御言 金田聖治 日キ教会 上田教会牧師</p>	<p>夜9:47~ [再開] 夜9:47~ Session - イエスの Tuneに 合わせて 早矢仕宗伯 [NCAMイエスの風] 牧師 塩谷達也 コスベル シンガー</p>	<p>夜9:37~ [再開] 夜9:37~ イエスとの 対話の旅 - 現代霊性神学講座 中川博道 カトリック・ カールメルケル会 修道院司祭</p>	<p>夜9:30~ 旧約聖書の ころ-詩編- (再) 雨宮慧 カトリック・東京教区司祭、 上智大学神学部名誉教授</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>	<p>夜9:30~ 夜9:53~ Kishikoの ひとりじゃ ないから [第1~3] 夜10:04~ コーヒー ブレイク・ インタビュ イェ 吉崎恵子・長倉崇宣 [第4~5] 夜10:04~ 交わりのことば 聖書の豊かさ 夜10:31~ 黙想のとき (再) 主よ、共に宿りませ 安保ふみ江</p>

**全地よ主を
ほめたたえよ**

- 主日礼拝取材番組
- [第1] 日キ教会 高知旭教会
 - [第2] 福音ルーテル 神水教会
 - [第3] 日基教団 久万教会
 - [第4] 日基教団 中標津伝道所
 - [第5] 各地の教会

[第2~5] 夜10:27~
**神からの
メッセージ**
グレゴリオ聖歌
橋本周子
聖グレゴリオの家
宗教音楽研究所長

諸所の企画案内



真命山 霊性交流センター ノートルダム・ド・ヴィ 慈しみ深き会

※注)

諸所の企画記事は集約・編集しています。
記載には注意を期しておりますが、
詳細は各問い合わせにご照会下さい。
よろしくお願い致します。

真命山 2021年 — 祈りの集いのご案内

「祈りの実り：イエス様と共に、 イエス様のように生きること」

毎月第2木曜日（10:00～15:00）

指導者 フランコ神父

1月14日 柔和な師イエスに習う(マタイ11・29)

2月11日 謙遜な師イエスに習う(マタイ11・29)

3月11日 十字架を背負っているイエス様に従う(ルカ14・27)

4月 8日 神の国でキリストと共に食事の席に着く(ルカ22・30)

5月14日 給仕するイエス様に学ぶ(ルカ22・27)

6月10日 「私があなたがたを愛したように…互いに愛し合いなさい」
(ヨハネ14・34)

7月 8日 祈るイエス様に習う(ルカ11・1)

* * *

9月 9日 「病気や患いを癒された」イエスの模範に従う(マタイ4・24)

10月14日 「福音を宣べ伝えた」イエスの模範に従う(マタイ4・24)

11月11日 ナインの母親を見て、憐れに思ったイエスと共に(ルカ7)

12月 9日 「行って…場所を用意したら、戻って来て、あなたがたを
私のもとに迎える」(ヨハネ14・3)



※個人またはグループでの黙想会
研修会も歓迎いたします(要予約)

申込先

真命山 諸宗教対話センター

865-0133 熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7

e-mail: shinmeizan@gmail.com

www.shinmeizan.com

tel:0968-85-3100

講話と祈りのつどい

コロナウイルス感染の広がりにより、
予定しておりました「講話と祈りの集い」の開催を
現在保留にしております。

状況の推移を見守りながら開催の有無を
当会のHPに掲載いたしますので、
そちらをご覧くださいいただければ幸いです。

担当 中山真里

ノートルダム・ド・ヴィ

〒177-0044 練馬区上石神井4-32-35

TEL(03)3594-2247 FAX(03)3594-2254

e-mail notredamedevie.japan@gmail.co

念祷の集い

～沈黙の内に神を求めて～

場所：イグナチオ教会岐部ホール404号室

時間：以下の木曜日

14:00～16:00(講話と念祷)

主催：慈しみ深き会



くのり

指導：九里 彰 神父（カルメル修道会）

中止のお知らせ

2021年度予定

予定しておりました「念祷の集い」は教区よりの指示により、当分の間中止となりました。再開については、再度紙面にてお知らせ致します。

連絡先：篠原 三恵子

Tel:042-473-6287

e-mail: mieko.shinohara@gmail.com

※各黙想会内容・日程等、詳細については各問い合わせ先に、ご確認ください。



朝日カルチャーセンターの 通信深読「聖書に親しむ」へのご案内

「通信深読」は、「聖書深読黙想会」にさまざまな理由で参加できない方々のために考案されました。参加を希望される方は、下記の朝日カルチャーセンター通信講座課へお申し込みください。手続きがすめば、次のような手順でこの「通信深読」が行われてゆきます。

ファースト・ステップ

「個人素読」：毎月、朝日カルチャーセンターから指定された聖書深読箇所を、ひとりで繰り返し読み、み言葉を自由に黙想します。

セカンド・ステップ

「個人素読」の報告書作成：送られてきた用紙（B5用紙）に、深読箇所特に印象に残った節を二三ヶ所選び、番号と○や△や×などの記号を記し、「全」には、全体の印象を表す、ご自分の体験と結びついた具体的な名詞を、「照」にはみ言葉を実践する決意を示す動詞を書き込みます。さらに「所感」や「近況報告・質問」の欄に、ご自由に自分の考えや質問等を記入します。

サード・ステップ

（参加者から朝日カルチャーセンターへ送られた「個人素読」の報告書は、参加者全員のものまとめられ、講師へ送られます。）

講師が各参加者の「個人素読」の報告書に対しコメントし、深読箇所の「解説」（A4 2枚）と共に、朝日カルチャーセンターへ送り返します。

フォース・ステップ

コメントされた全員の「個人素読」の報告書（「近況報告・質問」はプライベートなこともあるので、削除されます）と「総合素読表」、そして講師の「解説」が冊子となり、各参加者に、センターから送られます。

* 費用：6ヶ月（20,360円）。納入は4月、7月、10月、1月。継続の場合19,130円。

* 講師：九里彰師（奇数月）、今泉健師（偶数月）

* 問い合わせ：〒163-0278 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル

私書箱21号 朝日カルチャーセンター通信講座課

Tel: 03-3344-2527（直通）

『靈性センターニュース』

* 郵送お申込みのご案内 *

ご郵送は、基本的に1月から12月までとなります。
途中からお申し込みの場合は、お申し込みの翌月から12月までとなります。
例：6月申込の場合は、7月号~12月号（但し8月号は休刊）となり、
5冊となります。ご希望の月数×250円程度の献金を下記口座
へお振込み頂ければ、幸いです。

郵便番号口座： 00910-6-333184
加入者名： カルメル靈性センターニュース事務局

なお、振替用紙の通信欄には、「郵送申込」（何月から何月まで）、また氏名、
郵便番号・住所、電話、Fax等ご明記ください。

また、郵送お申込とは別に、ご献金もお願いしております。

その場合は、「献金」とご記入お願い致します。

何かご質問等があれば、事務局の方にご連絡ください。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12
カルメル会宇治修道院 「靈性センターニュース事務局」
Tel:0774-32-7456
Fax:0774-32-7457

reisei@carmel-monastery.jp

男子跣足カルメル修道会のホームページ

<http://www.carmel-monastery.jp>

Google:「カルメル会」で検索できます



男子跣足カルメル修道会
Order of Discalced Carmelites

靈性センターニュース掲載の情報も載っています

あとがき . . . つぶやき . . .

主のご復活祭おめでとうございます。

3月21日で、新型コロナウイルス感染症対策としての緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ様子見の日々がつづきます。この事態の終息にはあと二年ほどかかるという専門家の声も聞こえてきます。

“ミサや集会はどうなるのか?!?”に揺れつづける中で、あらためて教皇フランシスコのことばが、響いています。

「ある聖人が言っています。『キリスト教は、信じるべき真理、守るべき法規、禁止事項の一そろいではありません。そうなったら不快です。キリスト教とは、わたしのことをあれほどまでに愛してくださり、わたしに愛を求めておられる、あのかたのことです。キリスト教とはキリストのことなのです』

(『キリストは生きている』156)。

教皇様が強調しておられるように、イエスとの直接の出会いの場であるミサのかけえなさをいつもかみしめながらも、“今、ここで”生きておられるあのかたが、わたしたちを見つめ出会うことを待っていてくださることを生き生きと受け止めたいと願う日々です。

もうひとつの言葉もわたしを支えてくれます。分かち合いたいと思います。

「生きているのであれば、このかたはあなたの生活の中に現に存在し、今この瞬間もそこを光で満たしてくださるはずです。もしそうであるなら、孤独や捨ておかれることはもう決してないはずです。誰もが去ってしまったとしても、約束どおりこのかたは、とどまっておられます。『わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいる』(マタイ 28・20)。目には見えずともその存在をもってすべてを満たしてくださり、あなたがどこに行こうともあなたを待ち続けておられるのです。すでに来られただけでなく、今も来ておられ、これからも毎日来続けてくださるからです。いつも新たな地平に向かって歩むよう、あなたを招いているのです。喜びにあふれた、幸せなイエスを黙想してください。勝利を収めた友であるかたとともに喜びなさい」(『キリストは生きている』125-126)。

(Fr.中川博道 o.c.d.)

